

# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)小田原市本町3丁目 マンション計画	階数	地上11F
建設地	小田原市本町3丁目283-1,284-1,285-1,286-6	構造	RC造
用途地域	商業地域、近隣商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	196 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年11月 予定	評価の実施日	2016年4月25日
敷地面積	1,133 m <sup>2</sup>	作成者	(株)光和設計
建築面積	449 m <sup>2</sup>	確認日	2016年4月25日
延床面積	4,067 m <sup>2</sup>	確認者	(株)光和設計

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>  
②建築物の取組み: 46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>  
③上記+②以外の: 46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>  
④上記+: 46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.2  
Q2 サービス性能: 3.1  
Q3 室外環境(敷地内): 2.4  
LR1 エネルギー: 4.0  
LR2 資源・マテリアル: 2.5  
LR3 敷地外環境: 3.4

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

### LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	ゴミ置場は臭気の漏れを抑制するために建物型とし、周辺環境に配慮した。機械式駐車場を前面道路から離し景観に配慮した。	その他 0
Q1 室内環境	開口部にT-2サッシを使用し、遮音性に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地を設けて環境に配慮した。
LR1 エネルギー	専有部は有効な採光及び通風を確保した。	LR3 敷地外環境 広告照明は行わない計画とした。
Q2 サービス性能	共用部はバリアフリーに配慮した空間とした。	
LR2 資源・マテリアル	主要水栓に節水コマを使用した。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される